



第47号  
〈年3回発行〉  
日置地区  
社会教育振興会  
〈事務局〉  
鹿児島教育  
事務所

心豊かで充実した人生、潤いと活力のある郷土づくり  
日置地区生涯学習推進大会・日置市生涯学習推進大会

### 感染防止対策の 協力に感謝！

11月28日(土)、日置市伊集院文化会館で開催され、約500人の参加がありました。今年は座席の間隔を空け、検温、手指消毒、マスク着用などコロナウイルス感染症予防対策を講じて実施しました。

#### 開会行事

田畑誠一会長(いちき串木野市長)が開会のあいさつを、宮路高光日置市長が祝辞を述べられました。

表彰式では、地区・市の社会教育等に尽力された個人・団体の表彰が行われました。



表彰を受ける受賞者

また、全国・九州・県において受賞された方々の表彰伝達も併せて行われました。(本号4面参照)

#### 講演

古市 憲寿氏

#### 「私たちが描く！未来の生き方」

社会学者、小説家として数多くのテレビ番組にも出演され、多方面で活躍の古市氏が、標記のテーマで講演をされました。  
「人口動態が大きく変化しない限

り、新型コロナで社会が抜本的に変わることはない。少子高齢化の進行が問題であり、人口の予測でその国の未来がわかる。人類は変化を重ねて生き延びてきた。」等、持論を語られました。

さらに、保育園義務教育化、



講演をする古市憲寿氏

老後の生活、若者の幸福度など、辛口ながらもユモア溢れる話に参加者は聞き入っていました。自分で決める「未来の生き方」に、多角的な視点や示唆をいただき、充実した講演となりました。

#### 「生涯学習の一年」事例発表

コロナ禍の中での「生涯学習講座」「子ども会大会」「指導者研修会」「地域学校協働活動」など、2市の特色ある生涯学習等の具体的な取組について紹介がありました。

#### 日頃の学習成果の発表

(1) 大正琴「琴城流」琴玉会(いちき串木野市)

ポランテア活動として施設訪問での大正琴演奏を行っていただきます。ロマン溢る大正琴の音色で「上を向いて歩こう」など懐かしい3曲を演奏し、聴く人の心を魅了しました。



大正琴の演奏

(2) さつまこけい笑いクラブ(日置市)

笑顔は私たちが幸せな気持ちにしてくれます。「笑いの体操」と「ヨガの深呼吸」を組み合わせた「笑いヨガ」を披露していただきました。健康に役立つ体操です。笑いで会場がとても元氣になりました。

(3) 3B体操(日置市)

かごしま国体イメー

「ゆめ」KIBAI YANSEI等2曲を披露していただき、会場から大きな拍手が送られました。



子どもたちと一緒に3B体操

(4) ふきあげウインドユーザーズ(日置市)

吹上地域の文化向上を目指し、音楽活動をしている社会人吹奏楽団です。昭和歌謡コレクションとして「異邦人」など5曲をメドレーで、また、NHK朝の連続テレビ小説主題歌「優しいあの子」を演奏していただきました。聴く多くの人に感動を与えてくれました。

#### 日和下駄

子どもたちに感謝!!

日置市教育委員会社会教育課  
課長補佐 堀之内洋久

私には、年の差3歳の娘が2人います。現在は、社会人です。

長女が6年生になる年に小学校のPTA副会長になり、その後2年間、会長をさせていただきました。その翌年は、自治会の育成会長、またその翌年からは、高校のPTA会長を3年間させていただきました。

どれも進んでなつた訳ではなく、夜に家に来られたり、校長室に呼ばれたり、断り切れない状況で引き受けることになりました。育成会長のときは、妻が勝手に私の名前で引き受けてきました。

実際のPTA活動では、大変というより、先生方や保護者の色々な意見や考えを知ることができ、新たな発見をしたみたいで楽しくとても充実していました。また、高校では県の役員もすることになり、九州各県の方々と知り合う機会を与えていただきました。

昨年度、社会教育課に異動し、PTAや子ども会など、行政の立場で関わることになりましたが、今までの経験が役に立っています。

これも、子どもたちのおかげだと感謝しています。

「ありがとう!!」



Zoom

## いちき串木野市

## PTA活動研究委嘱公開

いちき串木野市教育委員会

1月16日(土)、市PTA活動研究委嘱公開を「Zoom」によるオンラインで開催しました。各学校等から約80人が参加しました。

## コロナ禍でのオンラインによる公開

市P連会長  
や司会者・発表者、指導助言者等は、各会場からパソコンの前でカメラに向かって発言し、参加者の様子はテレビモニターに拡大しての運営となりました。



オンライン開催の様子

## 研究発表の概要

羽島小学校、羽島中学校

(研究主題)

「9年間で育てる羽島の子供」

～小中合同PTA活動の実践を通して～

小中合同での取組として、教育講演会、研修視察、緊急引き渡し訓練、運動会を紹介しました。運営の効率化や参加者の拡大、経費の削減などの成果が見られました。

また、2校のPTA専門部も総務研修部、生活保体部、環境事業部の3つで構成されており、保護者間の

連携がとれやすくなっています。

「平日はノーゲーム」の取組は、2校のPTAの重点実践項目と決めて取り組んでいます。

## 学校評価アンケートの結果



小中合同運動会

▲夜更かしにより就寝時間が遅い傾向にある  
▲家庭でのメディアとの接触時間が長い傾向にある

などの課題が明らかになりました。

そこで、メディア・ゲームとの関わり方を見直す機会として、10月を「テレビ・ゲームを消して家族のひととき」という重点月間に設定し、各家庭で目標・取組の結果をカードに記録し、各家庭の実践の様子や工夫を取り上げPTAとして分析することとしました。



親子での取組

今回の取組で会話の大切さやメディアに対する意識が変わった。また、今後も親子のコミュニケーションを積極的に作りたい。

この取組をきっかけに、家庭での生活リズムを見直そうとする家庭、11月も継続して取り組む学年もありました。

## 成果と課題

成果として、多くの学年で、早起き朝ごはんの習慣が身についたり、メディア時間の削減につながったり、家庭学習時間が増えたりしています。

課題として、チェックカードの取組に家庭差や学年差が見られ、学校全体で実践につながるように学級PTAや広報紙等で啓発していく必要があると感じました。

参加者からの主な意見

❖ 小中合同の取組で保護者の負担軽減になっていることが参考になりました。

❖ メディアの問題は子どもだけでなく保護者の意識を高めていくことが大事だと感じました。

## 終わりに

今回はコロナ禍でのオンラインによる開催となりましたが、研究発表に対しての意見交換もスムーズに行われ、事前の準備がしっかりなされていると感じました。

参加者からも「オンラインによる公開は、分かりやすく、意外と集中して参加できました。」などの意見がありました。

## 地域おこし活動

## 接岸港壁画修復作業

小宝島子ども会(十島村)

地域おこし活動の一つとして、いきいき教室及び子ども会定例活動を主体とした接岸港壁画修復作業を行いました。

## 共に汗を流す

役場から多くのペンキを準備してもらい、当日は、子どもたちと一緒に地域の方々にも多数参加していただきました。

お陰で長い間、剥げ落ちていた壁画の大部分を修復することができ、とてもきれいになりました。

## 思い出っぱいの壁画

小宝島の壁画には、多くの人物像が描かれています。その人物像の中には、以前、小宝島小中学校で在籍した児童生徒もいます。いつか、小宝島に来島し、接岸港の壁画を見たときにきつと当時のことを思い出してくれることでしょう。

また、接岸港は、小宝島の玄関です。時に、観光客等が壁画の前で写真撮影をする姿も見かけることもあります。

役場の協力を得て、地域住民・児童生徒が共に汗を流し、活動した接岸港壁画修復作業、十島村の一体感を感じた活動となりました。



修復後の壁画の前で



修復作業中の様子

## 日吉地域「ふるさと学寮」事業

日吉地域では、毎年日吉小・中学校の児童生徒を対象に「日吉地域ふるさと学寮」を行っています。



13人の参加者

今年  
は新型コロナウイルス感染症予防対策を取りながら、11月23日～26日の3泊4日で実施しました。  
今年の参加者は、日吉小学校児童13人。宿泊生活をしな

## コロナ禍の事業 ～日置市教育委員会～

## 令和3年 日置市成人式

今年は、新型コロナウイルスの影響で、県内でも中止や延期をした自治体がある中、本市では何度も検討し、マスク着用や検温、手指消毒の徹底、入館者を制限するなどの対策を行い、1月3日(日)、日置市伊集院文化会館において開催しました。

## 記念品は地元の焼酎

日置市内から実行委員を募り、19人の実行委員で、9月から12月まで計4回の実行委員会を開催し、オープニングや記念品等について話し合いました。

がら通学する体験をとおして、子どもたちが自主性や協調性等を育めるよう研修を計画しました。

## 3泊4日の研修

1日目は、事前研修会で子どもたちが決めた料理を作りました。自分たちで買い物をし、慣れない包丁に苦



料理を作る子どもたち

で協力して、美味しく作ることができました。2日目は拉致問題のDVDを鑑賞し、人権について深く考えるよい機会になりました。

実行委員あいさつの様子



## ブレゼントされました。

また、新成人からは、生まれ育った地域へ少しでも恩返しのできるもの、記念として長く使っていただけのものをと考え、協力を募り、各地域の市立図書館へ図書が贈られま

今回のオープニングでは、日置市内の7中学校の卒業アルバムを基にプロジェクトマップを上映し、新成人への記念品として、実行委員がデザインしたオリジナルラベルの地元の焼酎が

新成人代表は、「苦手だと思っていたことにも挑戦して、色々なことを経験し、新しい考えを見つけ、社会に貢献していきたい。」と発表し、責任ある大人になろうと決意を新たにしました。

コロナ禍でしたが、無事に新成人を祝うことができました。



新成人代表の抱負

3日目は、ALTの先生と異文化交流を行い、イギリスのクリスマス等について学習した後、クリスマスカードを作成しました。今年度は、1日短い日程となり、子どもたちは物足りない様子でしたが、充実した毎日過ごすことができました。

12月には伊集院地域、1月には東市来地域と吹上地域でそれぞれ3泊4日で実施しました。参加した学寮生は、家庭を離れ、異年齢集団による宿泊をとおして、家族の大切さを見直し、人間性豊かな青少年に成長したようです。

JETプログラムを活用して  
「温かいおもてなし」

## 三島村教育委員会

三島村では、現在JETプログラム事業を活用して、英語教育の向上に努めています。本村教育委員会に配属された初めてのALT(米国)は3年目となりました。

普段は鹿児島市内にある教育委員会事務局に駐在。月に数回島へ渡り、授業をしたり子どもたちと触れ合ったりしています。また、教育委員会にいる時は遠隔教育システムで授業に参加するなど三島村だからこそできる教育支援にも取り組んでいます。外国青年を招致し、外国語教育の充実や国際交流の推進を図るJETプログラム事業は、ネイティブとの直接的な触れ合いができる貴重な体験の一つ。来年度には各学校一名ずつ配置できるよう要望する予定です。



ALTとの触合い

本村教育委員会へ配属されるALTには英語の授業はもちろん、給食や部活動、学校行事、地域行事などへ参加し、子どもたちのコミュニケーション能力を高めてほしいと願っています。そして、子どもたちを始め、全ての村民が温かいおもてなしの心がこもった国際交流に取り組んでいきます。

# 県内で唯一開催 鹿児島県PTA活動委嘱研究公開

日置市PTA連絡協議会

例年、7区域9会場で開催される県PTA活動委嘱研究公開は、コロナ禍の影響で本地区が唯一の開催となり、1月30日(土)、東市来文化交流センターで、200人の参加がありました。(他地区は書面開催等)

「美山少年隊」  
「ひまわり竹太鼓」  
の afterwards、開会行事では、県PTA連合会長太田敬介氏が開会のあいさつを、日置市長・小園義徳(副市長)が祝辞を述べられました。

## 家庭・学校・地域の連携を図りながら

伊作小学校PTA、和田小学校PTA、美山小学校PTAによる研究発表がありました。各学校が、PTAや地域、地区公民館との連携・融合を図り、地域力を生かした特色ある活動を発表してくれました。



各学校の発表者

## 笑顔は安心感を与える

講演は、佐賀県で活躍されている臨床心理士の吉村春生氏が「心がかぜをひくとき『安心感』と自立」と題して、人の心の働きや心の育ち、

県PTA連合 太田敬介会長

子ども理解についてテンポ良くユーモアを交えて語られました。



講師 吉村春生氏

「フリーズ」した心には誰かの関わりが必要。心のクリーンアップには、泣くことや遊ぶこと、そして甘えることも大切。語り口が楽しく、心にも響く講演でした。保護者としての在り方を学びあう有意義な研修会になりました。

## 受賞 おめでとうございます

### 【全国県表彰】※敬称略

- ★優良PTA文部科学大臣表彰  
旭小学校PTA(いちき串木野市)
- ★社会教育功労者文部科学大臣表彰  
中木屋 豊(日置市)
- ★優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進にかかる文部科学大臣表彰  
荒川小学校PTA(いちき串木野市)
- ★県青少年育成県民会議表彰  
下野 照男(日置市)
- ★県公民館連絡協議会表彰  
春田 睦男(日置市)
- ★子どもの読書活動推進優良図書館等県教育委員会表彰  
てるてるくらぶ(いちき串木野市)

### 【地区社会教育優良個人・団体表彰】

- 日置市 今別府利行、馬渡義秋、永井章子
- いちき串木野市 川田由紀、田淵智、野邊美代香、串木野ライオンズクラブ

# 国指定名勝等を歩く！

11月18日(水)、日置地区文化財担当者等研修会が開催され、16人が参加しました。

## 大綱策定に係る意見交換会

今回は、県文化財保存活用大綱の策定に係る意見交換会があり、本庁文化財課住吉啓三文化財主事と真鍋雄一郎文化財主事から文化財保存活用大綱の概要についての説明がありました。



意見交換会

意見交換会では、各市村の文化財保存活用の課題や防災・防犯対策、郷土芸能の後継者育成などが話し合われました。出席者からは「大綱の策定スケジュールを示してほしい」「大綱と地域計画の内容調整が図られるようにしてほしい」等の要望も出されました。

## 事前解説・現地研修

現地研修に先立って、本教育事務所立部副指導課長から解説がありました。特に玉里邸庭園は復元修復に直接関わった経験から、当時の作業の様子などを詳細に話されました。午後からは、実際に立部指導課長の案内で見学し、当時の時代背景や庭園・遺跡の説明を受け、参加者は

# 「旧島津氏玉里邸庭園、福昌寺跡」 日置地区文化財担当者等研修会

貴重な文化財に見入っていました。改めて鹿児島の新たな歴史を知る有意義な研修となりました。

## 現地研修1 福昌寺跡

玉龍山福昌寺は1394年、7代島津元久によって創建された島津家の菩提寺。その当時、南九州最大の寺院。現在、寺の境内は鹿児島市立玉龍高校となり、その背後に6代師久 薩摩氏久 大隅 から28代斉彬までの歴代当主とその家族の墓、歴代住職の墓等が残されている。



## 現地研修2 旧島津氏玉里邸庭園

第27代当主島津斉興によって築庭された大名庭園で「上御庭」と「下御庭」に分かれる。現在の鹿児島市立鹿児島女子高等学校隣にある。本庭園には地域独特の材料・意匠が用いられており、南九州の大名庭園としての学術上・鑑賞上の価値が高い。2007年、国の記念物(名勝)に指定された。



## 編集後記

桃花笑春風(どうかしゅんぷうにえむ) コロナ終息がまだ見えてきません。しかし、どんな厳しい冬でも、いつかは春が来ます。苦難の日々が続きますが、一緒に乗り越えていきましょう。(事務局 田中)